

マクセル アクアパーク品川

都市型水族館の【SDGs14:海の豊かさを守ろう】へのアクション 2021年より“サンゴ礁保全”を目指した、サンゴの飼育繁殖への取り組みを継続中。 今年も「サンゴの産卵」が3日間に渡り確認されました！

拝啓

初夏の候、貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は『マクセル アクアパーク品川』（所在地：東京都港区高輪4-10-30 品川プリンスホテル内、館長：山田亜希子）の広報活動にご理解、ご協力賜りまして誠にありがとうございます。

当館では2021年より、【SDGs14:海の豊かさを守ろう】へのアクションとして“サンゴ礁保全”への取り組みを行っています。アクアパークの常設展示における大部分の生きものの分布域に“サンゴ礁”が存在し、その親和性の高さからサンゴに着目、さまざまな活動を行ってまいりました。

2021年9月、閉鎖循環水槽内での人工海水を使用した“ヤッコミドリイシ”の産卵を日本で初めて観察。2022年5月には“ヤングミドリイシ”の産卵から着床まで確認され、このケースも日本初となりました。

さらに同年8月、沖縄県石垣島の周辺海域でサンゴの養殖を行う「八重山漁業協同組合サンゴ種苗生産部会」と水槽設備における協力企業「AIネット株式会社」とともに“サンゴ礁およびサンゴの研究、教育普及”に関する3社連携協定を締結し、今まで知り得なかったサンゴの生態やさらなる魅力の発見に努めています。

そして今年も2023年4月28日(金)に「八重山漁業協同組合サンゴ種苗生産部会」より抱卵状態のサンゴを搬入、当館で飼育・観察を続けた後、5月6日(土)・8日(月)・9日(火)の3日間に渡り“ヤングミドリイシ”の産卵が確認されました。

今後も長期的な視点で飼育繁殖にチャレンジし、閉鎖循環水槽、人工海水を用いた“ミドリイシ類”の繁殖ノウハウを確立させ、将来的には品川生まれ・育ちのサンゴを八重山の海へ返すことを目指します。

合わせて、“海の世界に興味を持っていただくことがSDGsに繋がる”という理念のもと、サンゴ礁の美しさや現状などを展示エリア「Coral Lab(コーラルラボ)」や解説プログラムを通じて、引き続き多くのゲストにお伝えしてまいります。

品川駅から徒歩約2分。“都市型水族館が取り組むSDGsへのアクション”としてご取材賜れますと幸いです。

時節柄ご多忙中とは存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具



「2023年5月8日(火)に観察されたサンゴの産卵」



「Coral Lab(コーラルラボ)」

2023年5月8日(火)に観察されたサンゴの産卵の動画は、
こちらのQRよりご覧いただけます。

